



鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会開催報告

エリア：人ともものが集まる賑わい（核）エリア

開催日時：令和6年1月18日（木）
午後6時30分～午後8時30分

テーマ：エリアの将来予想・他自治体取組事例の共有

開催場所：摂津市役所7階講堂・WEB
参加者数：18名（内オンライン参加6名）

今回の説明会は、大阪モノレール南摂津駅を中心とした「**人ともものが集まる賑わい（核）エリア**」を対象として開催しました。

Zoomを使用したオンライン説明会は、会場で映し出されている資料等をリアルタイムに見ることができ、また、議事進行に合わせて、オンライン参加者からもご質問やご意見をいただけるよう工夫をされており、会場とオンライン参加者とで円滑に意見交換ができました。



会場の様子（12名）



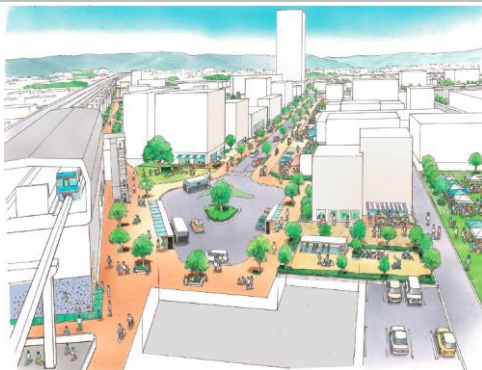
オンラインの画面（6名）

今回の対象エリアについて

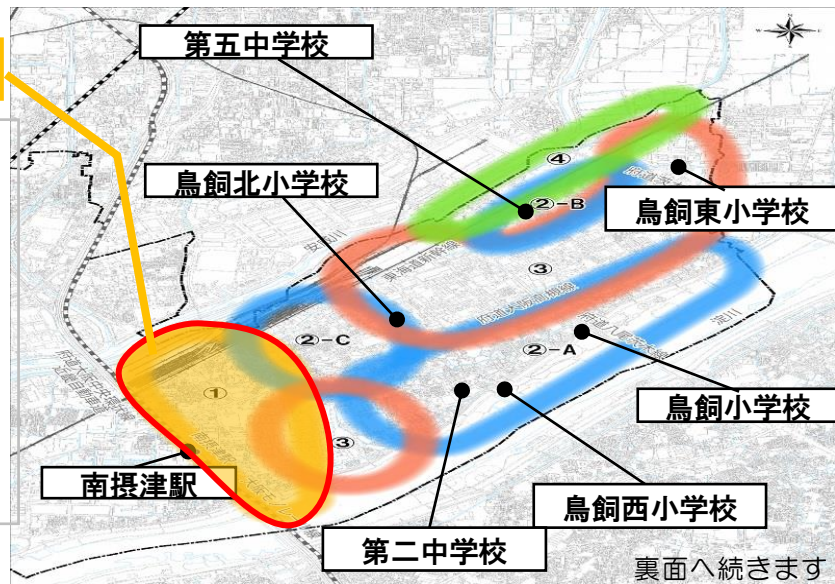
鳥飼地域に唯一の鉄軌道の駅である大阪モノレール南摂津駅では1日あたり約10,000人の駅利用者（乗降客数、来街者を含む）があり、自動車で大阪都心への移動が容易である府道大阪中央環状線沿いに位置していることを地域の資源と捉え、鳥飼地域の玄関口として、**人ともものが集積し、賑わいが生まれる、鳥飼地域の核としての機能を期待するエリア**です。

また、健康で地球環境に優しく、健康寿命を延ばし介護予防にもなる、**誰もが安全で安心して歩きたくなるまちを目指すことを期待するエリア**でもあります。

人ともものが集まる賑わい（核）エリア



今回のエリアの将来予想（イメージ）



裏面へ続きます

今回の内容

説明会では、地域の資源（特徴）等を説明し、鳥飼まちづくりランドデザイン策定委員会
でいただいた意見等を基に描いた、このエリアの将来予想について説明しました。

また、南摂津駅前という他のエリアにない地域資源の活用には、これまで以上に**住民や地域活動団体、事業者等の連携・協力が必要不可欠**であり、具体的な参考事例として、他の自治体
で実際に行われた駅前活性化等の取組について紹介しました。

最後に、今回の説明では触れられなかった皆さんの考える地域資源や、ランドデザインに
ない皆さんが考えている目指したい将来予想、それを実現するための課題と対応等について、
忌憚のないご意見をお送りいただくようお願いしました。

説明会出席者の意見（一部抜粋・要約）

小さい子供を連れて、新幹線公園に行くのは大変！公園の駐車場が必要

桜がきれいいて人が集まる

南摂津駅は茨木市駅のような人が集まる駅になっていない

まちづくりに対する地元の意識醸成も必要

鳥飼の商店街を活性化すれば街も人も活性化するのは？

高台まちづくりが推奨されているが、高台化した後、高層階が火事になった時でも、現状の消防車の能力で消火活動ができるのか？

摂津市のハートマークに似た地形を活かして、カップルや男女が集まる場所として、観光等にも力を入れてもらいたい。

最近の本市における賑わいに資する活動

令和5年12月に、南摂津駅前のにぎわい創出を目的に、「一般社団法人中小企業ものづくり共創協会」が「むすんでひらく文化祭」を開催しました（市は後援）。当日は途中から雨が降りましたが、30ブース、キッチンカー3台が出店し、多くの人で賑わっていました。

摂津市役所の鳥飼地区まちづくり担当もブースを出展し、鳥飼まちづくりランドデザインで地域資源として記載した場所を当てるゲームや同ランドデザインに関するパンフレットの配布、アンケートの実施等をおこないました。



説明会の資料や議事録等は摂津市HPに掲載していますので、是非ご覧ください。

他のエリアではワークショップも開催しています。

ワークショップの開催状況等についてもHPに掲載しています。

資料・議事録等はこちら



摂津市市長公室政策推進課
(鳥飼地区まちづくり担当)

06-6170-1655

鳥飼まちづくりランドデザインについて
知りたい方はこちらをご覧ください→

